

# 全岐阜県生協連の「防災・災害支援」の取り組み報告

2022/3/3

全岐阜県生活協同組合連合会  
専務理事 佐藤圭三

## 【1】大規模自然災害への対応の状況

- ・ 全国の生協では阪神・淡路大震災以降、自治体との災害協定の締結や生協間での支援協定、大規模災害への備えの学習などを行い、地震や台風、豪雨など近年相次ぐ自然災害に対し、緊急物資の支援、災害ボランティアの派遣、災害ボランティアセンターの運営支援、被災地への義援金・支援金活動などに取り組んできました。東日本大震災の他にも、全国や地域ごとに支援活動は今も継続されています。
- ・ 岐阜県においても、1996年の岐阜県と県連の災害協定締結に始まり、会員生協（コープぎふ）と市町村との災害協定締結が進んでいます。全国連帯による支援活動、会員生協ごとの支援活動の両面から被災者支援の取り組みを行っています。

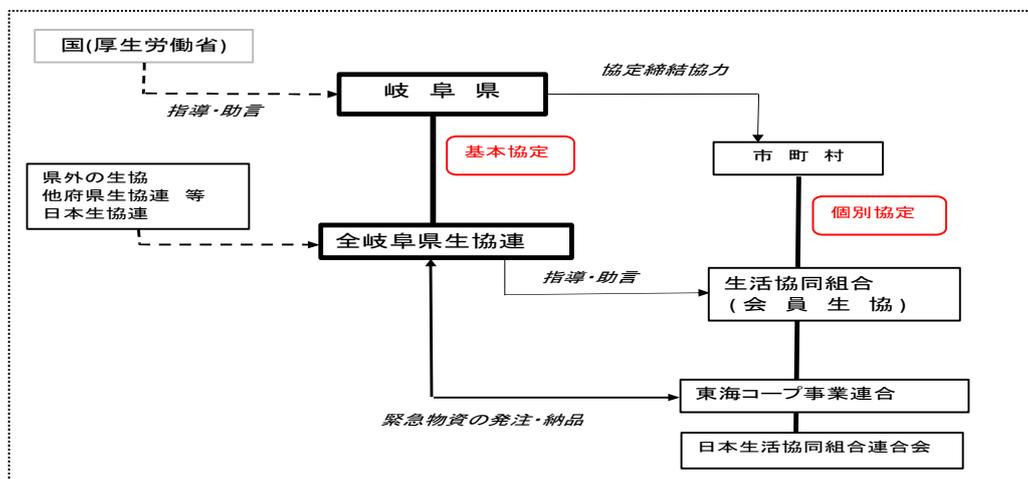


## 【2】行政・諸団体との連携

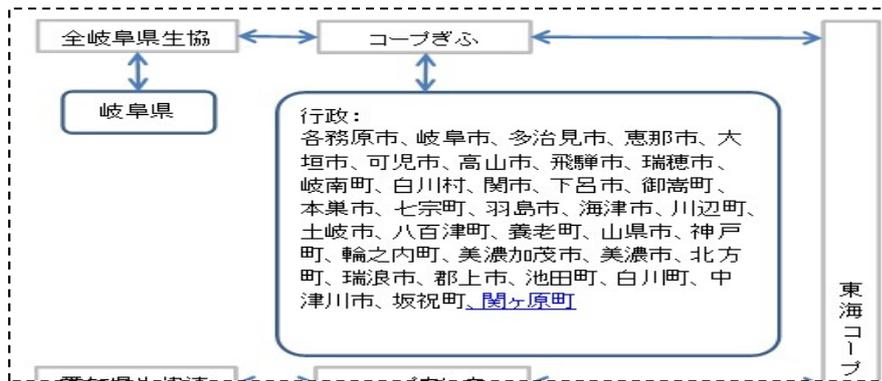
(1) 岐阜県と「緊急時における県民生活の安定に関する基本協定」締結(1996年2月)  
(主な内容)

- ① 応急生活物資の確保、個別協定締結の促進・協力
- ② 会員生協の組合員が行うボランティア活動の支援・協力
- ③ 発災時の物価等の生活情報の収集・提供
- ④ 会員生協の組合員の防災意識の向上
- ⑤ 県外生協との連携強化、生協間相互の協定締結等の広域支援体制の整備

### (2) 基本協定の枠組み



### (3)個別協定の状況(コープぎふと市町村)



- ・岐阜・各務原の山火事への支援物資供給(2001年)
- ・台風23号による高山市被災者支援。(2004年) ボランティア参加。飲料・掃除用具の提供。義捐金贈呈。

### (4) 計画や手順の確認・見直し

- ・2019年 情報交換会(岐阜県地域福祉課・県民生活課、コープぎふ、岐阜県生協連)
- ・2020年 災害協定の実施細目の見直し。  
(県民生活課、コープぎふ、東海コープ、岐阜県生協連)
- ・2020年～コープぎふ BCM 推進プロジェクトに参加(オブザーバー)

### (5) 岐阜県の防災計画への参加

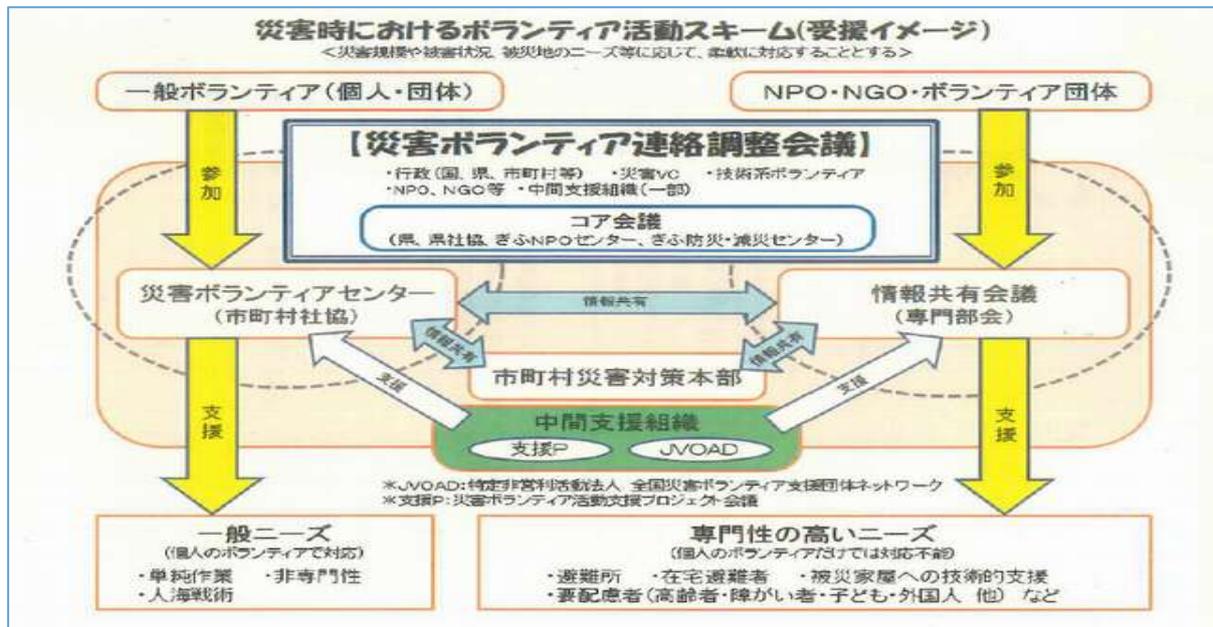
- ・ 年～ 岐阜県防災会議に参加
- ・2016年 岐阜県主催「災害協定に基づく通信訓練」に参加。  
岐阜県主催「岐阜県緊急対策チーム図上演習」に参加。
- ・2017年 「災害ロジスティクス中部広域連絡会議岐阜県部会」に参加。  
災害時広域受援計画の見直しを検討  
岐阜県生協連主催「防災学習会」開催。講師:岐阜県危機管理政策課長

### (6) 災害支援活動に関わる取り組み

- ・1995年 「自然災害に対する国民的補償制度」を求める署名活動に参加。(15万筆)
- ・1997年 県議会、80市町村議会で意見書採択。
- ・2002年 「岐阜県災害ボランティアコーディネーター協議会」発足。支援会員登録。
- ・2004年 「岐阜県地震防災対策推進条例」制定に向けた意見書提出
- ・2013年 福島の土壌スクリーニング調査に参加
- ・2014年 「第23回全国ボランティアフェスティバルぎふ」で分科会報告。
- ・2014年～岐阜県災害ボランティア連絡会に参加
- ・2018年 内閣府と県主催「災害時における三者連携・協働に向けた研修会」参加。
- ・2018年 岐阜県主催「災害ボランティア施策にかかる説明会」参加。
- ・2018年～**岐阜県災害ボランティア連絡調整会議に参加。**(毎年)



- ・2019年～「災害ボランティア連絡調整会議設置訓練」参加。(毎年)
- ・2019年 ぎふ NPO センター「災害にも強い地域づくりに向けた調査及びスキーム構築事業」プロジェクトにアドバイザーとして参加。
- ・2020年 「災害ボランティア連絡調整会議 全体会議」に出席。(7月)



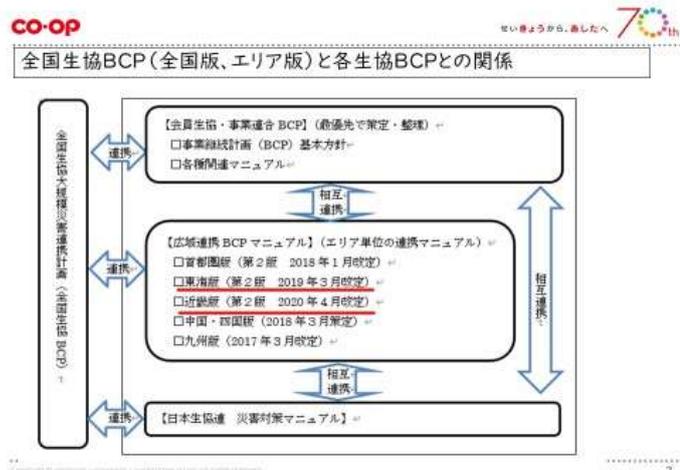
### 【3】全国の生協による連携

#### (1)「関西地連大規模災害対策協議会(連絡会)」

- ・阪神淡路大震災(1995年)、新潟県中越地震(2004年)等の発生を契機として、県域を超えた生協間における連携の機運が高まる。
- ・2007年 「関西広域連携プログラム」策定、関西地連「大規模災害対策協議会」設置。
- ・2008年 12府県連による「相互支援協定」締結。相互の連携・協力を通して、各々の災害協定の遂行と、生協の事業継続を実現することを目的とする。
- ・以降は、定期協議とともに、ブロック別図上演習、非常用通信機器訓練等を実施。

「東海北陸大規模災害対策図上演習」岐阜県開催(2009年)  
 於ホテルグランヴェール岐山。各県から90名の生協関係者が参加。

#### ◆2012年「全国生協BCP」策定



### (3)被災地支援、災害復興義援金の取り組み(近年分)

#### ①コープぎふの活動

##### 【2018年7月西日本豪雨災害】

- ・**県内被災地へのお見舞い活動実施。(関市、下呂市金山)**
- ・倉敷市ボランティアセンターへ運営スタッフ派遣。

##### 【2019年台風19号被害】

- ・**長野市災害ボランティアセンターへ運営スタッフ派遣。**
- ・宮城県丸森町災害ボランティアセンターへ運営スタッフ派遣。

##### 【2020年7月豪雨災害】

- ・県内で被害が大きい下呂市や白川町を中心にお見舞い訪問を実施。



#### ②募金・義援金

- ・2018年 平成30年7月豪雨災害 岐阜県への復興義援金 6,365,930円  
全国生協に集まった10億円超の募金を被災状況で按分。  
この他に、コープぎふから岐阜県に497万円を贈呈。

- ・2020年 令和2年7月豪雨災害 **岐阜県への復興義援金 7,103,271円**  
全国生協に集まった約7億円の募金を被災状況で按分。  
**この他に、コープぎふから219万円、西濃医療生協から60万円。**

※参考：全国の募金実績(日本生協連調べ)。

##### 【2021年8月豪雨災害支援募金】

全国87生協、合計235,225,456円

##### 【2020年7月豪雨災害支援募金】

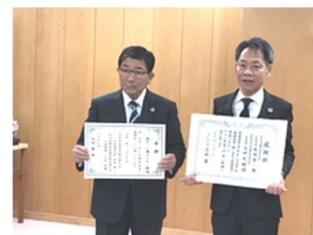
全国110生協、合計677,916,984円

##### 【2019年台風19号被害支援募金】

全国188生協、合計6億7千万円

##### 【2018年7月西日本防雨災害支援募金】

全国200生協以上、合計10億円以上



### 【4】会員生協の防災への備え強化の支援

#### (1) 防災意識の調査・把握

- ・会員生協の「防災の備え」実態調査(アンケート、ヒアリング)。(2014年)

#### (2) わが家の防災チェック(アンケート、啓発活動)

- ・2017年 大阪いずみ市民生協の取り組みを学習。
- ・2018年 大阪よどがわ市民生協の取り組みを学習。  
第1回「わが家の防災チェック」実施。1,197人参加。
- ・2019年 「わが家の防災チェック2019」実施。1,179人参加。
- ・2020年 「わが家の防災チェック2021」実施。1,157人参加。

### (3)研修・スキルアップ支援

- ・2019年～ 岐阜県社会福祉協議会主催  
「岐阜県災害ボランティア支援職員スキルアップ研修」参加  
「災害ボランティアシンポジウム」参加



### (3)学習・啓発活動

#### ①岐阜県生協大会

- ・1996年 「震災と生協」
- ・2004年 「大規模災害と生協」
- ・2017年 「我が家の防災と生協活動の継続を両立するには」  
講師:岐阜大学 村岡治道准教授
- ・2018年 「岐阜県の地震と活断層」 講師:名古屋大学 鷺谷威教授
- ・2019年 「一緒に考えましょう、わが家の防災」 講師:岐阜大学 村岡治道准教授



#### ②拡大理事会研修

- ・2013年 福島県生協連 …福島県生協連、郡山医療生協視察 他
- ・2016年 福島県生協連 …JF 福島、JA 福島未来、  
東日本大震災被災地視察 他
- ・2017年 熊本県生協連 …熊本地震被災地視察 他
- ・2018年 静岡県生協連 …静岡県地震防災センター、  
浜岡原子力館視察 他
- ・2019年 北海道生協連 …北海道胆振東部地震被災地視察 他
- ・2020年 広島県生協連 …中止
- ・2021年 広島県生協連 …中止



#### ③会員生協の事業継続計画(BCP)の策定支援

- ・2015年 岐阜県「BCP 策定支援事業」を活用し学習会に参加。4 生協で BCP 策定。

#### ④非常用通信機器の配備



- ・会員生協への衛星携帯電話の配置計画づくりを開始。(2014年)
- ・非常用通信機器の配置計画を MCA 無線に変更。(2015年)
- ・MCA 通信機を全会員生協に配置。訓練開始(日本生協連版訓練)。(2016年)
- ・MCA 通信訓練に県連版訓練を追加し毎月実施に。(2017年)

#### ⑤ その他

- ・会員生協に防災士資格の情報提供。(2017年)

以上